|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 | 出土品の材料分析と作成工程を通してみる○○の社会形成 |
| 研究の背景・目的※500-700字程度 | 　○○時代の○○を理解する上で、同時代の○○地域における特殊な社会が如何に形成されたかを解明することが重要とされている。この社会形成の解明においては、○○と○○で行われていた地域間交流の情報がその鍵になり得るが、これまで材料学的視点から情報取得が試みられたことはなかった。　本研究では、これら関係地域から出土する○○時代を特徴付ける○○の材料分析と作成工程の解明を通じて、当時の流通形態と技術拡散を検討し、社会形成について新たな知見を得ることを目的とする。**青文字部分は参考例です。提出時には削除ください。****また、申請書の作成は黒字、11ﾎﾟｲﾝﾄでお願いいたします。** |
| 本研究の内容・計画※600-800字程度 | 　本研究では、○○の材料分析から原材料の生産地を推定するとともに、同一原料の○○が出土する場所分布を把握することから、当時のモノ流通に関する情報を得る。また、材料科学の観点から作成工程を解明し、原材料の活用と技術開発が行われた背景、および、その伝播が如何に進んだかを検討する。これらで得られる結果から社会形成に関する知見を得る。　より具体的な実施内容は以下の通りである。1. 申請者が所属する○○で分析用の資料を準備し、資料表面の元素分析を金属材料研究所（以下、金研）で○○の手法により行う。金研までの資料の運搬は代表者が行い、測定は分担者が協力して行う。
2. 共同研究者である金研の○○と微量分析に資する資料の扱いについても検討し、最適な分析手法を確立する。
3. 得られた結果の分析は共同研究者の指導のもと、代表者と分担者で行い、歴史的解釈については代表者が主導して行う。
 |
| 本研究で期待される成果※400-600字程度 | 　材料学的な分析を行うことで原材料の生産地が推定される。加えて、○○の作成工程も解明することで、技術伝搬を含む地域間交流に関する検討が可能となり、これらの結果から○○に対する新たな知見が得られると考えられる。これにより○○の理解に貢献できる。また、○○の研究において材料学的調査の有効性を示す例になるため、波及効果も期待できる。 |
| これまでの研究成果※500-700字程度 | ※申請書の該当課題に関係する、これまでの研究成果（論文、口頭発表等を含む）を記入してください。 |
| 　申請者は、これまで○○の研究を行い、○○を明らかにしてきた。特に申請課題に関する内容において、この成果は○○の点で重要であり、研究コミュニティから○○の評価を受けている。　これまでの研究成果は下記に示す論文にまとめ、学会で発表を行っている。（論文）著者名、論文表題、雑誌名、巻、最初の頁、発行年（発表）発表者、発表表題、発表学会、場所、発表年月 |
| 旅行計画 | ※研究計画をもとに、必要な旅行計画を具体的に記載してください。旅費見積もりの記載は不要です。 |
| 旅行者：研究代表者及び分担者1名旅行日程：11月頃、2泊3日/1回用務先：東北大学金属材料研究所行程：広島-仙台 |
| ※推進室記入欄 |  |